

発表概要資料（令和7年度：2050年カーボンニュートラルに向けた省エネ・創エネ・温室効果ガスの削減に資する技術）

下水道閉塞要因としての油脂性排水の挙動解析とバイオマス資源化を指向したグリストラップ機構の統合的研究

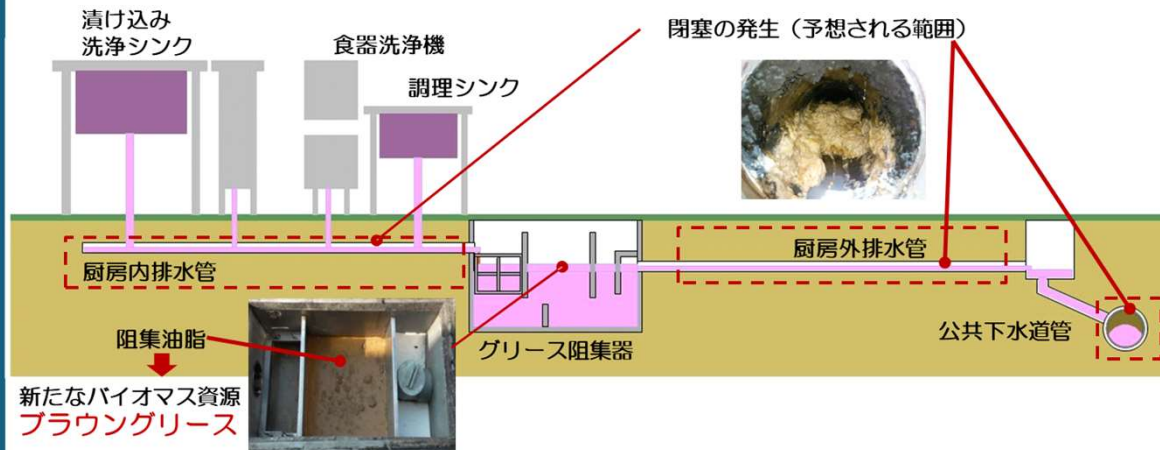
【発表者】東洋大学理工学部都市環境デザイン学科 大塚 俊彦

【目的】油脂性排水による下水道インフラへの影響解析と油脂性排水の安定的なバイオマス資源への転換

【概要】油脂性排水による下水道閉塞機構の提案と高効率な油水分離性を有する新型グリス阻集器の開発

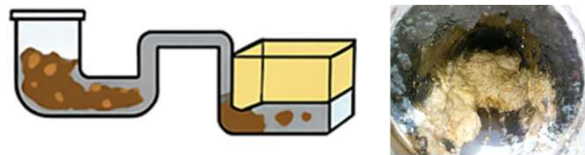
【技術の概要】

【油脂性排水の現状】



【研究のステップ】

① 油脂性排水による下水道管閉塞機構の提案

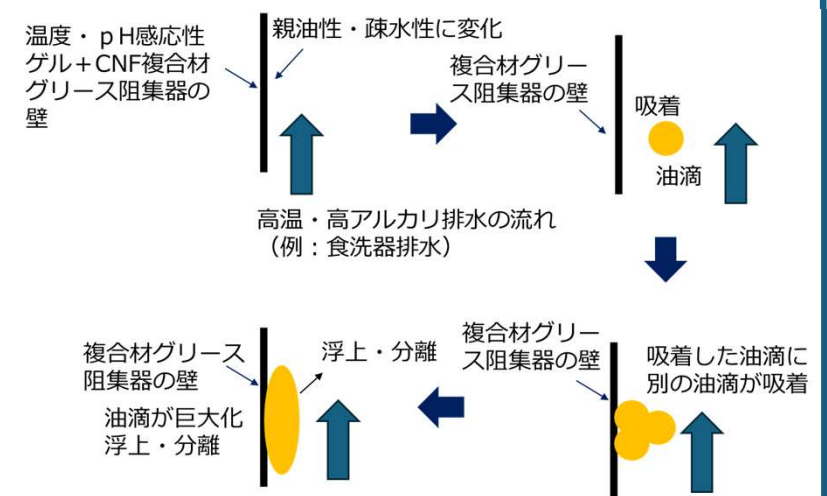


② 温度・pH感性性ゲル+CNFによる
新型グリス阻集器の開発



【技術の革新性・独創性のポイント】

【新型グリス阻集器の油水分離イメージ】



【期待される研究成果】

- ・グリス阻集器による油脂阻集率の向上
 - ・ブラウングリスのバイオマス資源活用の促進
(**バイオベース社会**)
 - ・下水道管の油脂閉塞の減少 (**レジリエント社会**)
- **レジリエント**で**バイオベース社会**の実現